



## 編集雑記

## 既刊案内 (特集・主要記事)

### [ 9月号 ]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.22」山形大学農学部 食料生命環境学科 教授 渡部 徹氏を訪ねて 農学と環境工学の学際的領域で社会貢献～下水道資源の農業利用、ノロウィルス・フリーの牡蠣等々…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎メーター検針・料金徴収のトップカンパニー第一環境㈱新社長・新副社長に聞く(下)副社長に就任した松本 太郎氏…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎スマートシティのモデル都市の構築を進めます～「スマートシティの実現に向けて【中間とりまとめ】」の策定～国土交通省 ◎インフラメンテナンスの着実な実施に向け、緊急的に取り組む施策をとりまとめました!…国土交通省 ◎主要都市の地価は95%の地区で上昇基調～平成30年第2四半期の地価LOOKレポートの結果～国土交通省 ◎熊本地震の教訓を踏まえ、復旧時、通常時に取組むべき宅地耐震化ガイドラインを初めて提示～全国の宅地耐震化の強力な推進に向けて～国土交通省 ◎ESG金融懇談会からの提言について…経済産業省 ◎平成29年度「技能検定」の実施状況を公表します…厚生労働省 ◎平成29年度末の汚水処理人口普及状況について…環境省 ◎「明日への道標」印象派を支えた共犯者～画商 ボール・デュラン＝リュエル～(株)日本設備工業新聞社代表取締役社長 高倉克也 ◎「東京ブラリルポ」芭蕉会館から深川神明宮例大祭へ…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「見てきたような話」⑨VIOの処理…低空飛行機 ◎「特別連載」ウィーン旅の赤恥 笑辞典(第3回)…弁護士 野平大魚 ◎国土交通省大臣官房官庁管轄部監修 工事写真撮影ガイドブック刊行 ◎新・撮った写真が5万枚!?!…IDE研究所 いでこうじ ◎建築着工統計(2018年6月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

### [10月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.23」国立保健医療科学院 生活環境研究部 水管理研究領域 上席主任研究官 島崎 大氏を訪ねて 水道と医療分野の橋渡しにもっと安全な水道水を目指す…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「注目のイベント」節目の第50回設備展開催～第50回管工機材・設備総合展～暮らしを支えて50回 未来を変える設備展～…東京都管工事工業協同組合◎環境経済観測調査(環境短観)平成30年6月調査確報値の公表について…環境省 ◎建設業の人材確保・育成に向けた取組の概要を公表します…厚生労働省・国土交通省の平成31年度予算概算要求の概要…国土交通省 ◎国土管理の取組がマンガになりました!～「マンガでわかる!国土管理～カンタとリコの訪問記」の公表～…国土交通省 ◎中小企業等で働く従業員向けの人材育成プラットフォームを公開します…経済産業省 ◎「環境省気候変動適応施策パッケージ」の取りまとめについて…環境省 ◎平成29年(2017)人口動態統計(確定数)の概況…厚生労働省 ◎平成30年北海道胆振東部地震に係る災害に関して被災中小企業・小規模事業者対策を行います…経済産業省 ◎「建設技能トレーニングプログラム」を作成しました!～いつでもどこでも受講可能な映像研修プログラムを公開します…国土交通省 ◎「明日への道標」従順ならざるプリンシプル～白洲次郎 自立への交渉～(株)日本設備工業新聞社代表取締役社長 高倉克也 ◎「工事写真撮影ガイドブック」の技術講習会開催…(一社)公共建築協会 ◎「東京ブラリルポ」幕末から明治の浮世絵師 落合芳幾、月岡芳年の展覧会開催…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「見てきたような話」⑩女のウツ…低空飛行機◎「特別連載」ウィーン旅の赤恥 笑辞典(第4回)…弁護士 野平大魚 ◎100年クリーン。「汚物」と「水アカ」の汚れを同時に防ぐオンリーワン衛生陶器「アクアセラミック」が100万台突破…(株)LIXIL ◎建築着工統計(2018年7月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

がん細胞は免疫の攻撃を巧妙に逃れてきた。人間の身体を守るべき免疫の機能がなぜ抑制されるのか。生命科学における難問に挑みつづけた京都大学高等研究院の本庶佑特別教授とテキサス州立大学のジェームズ・アリソン博士がノーベル医学・生理学賞を共同で受賞した。

免疫は活発になりすぎると健康な細胞まで破壊してしまう。本庶氏は1992年、免疫の働きを抑えるPD-1という遺伝子を発見し、がん細胞がPD-1を利用して免疫の攻撃を免れていることを突きとめた。そしてがん細胞によるブロックを解除する治療法の研究を開始し、2014年に免疫の働きを回復させる治療薬オプジーボを製薬会社と共同で開発することに成功した。

従来のがん治療法は外科手術、放射線、抗がん剤のいずれかに限られていた。わたしの父も膀胱がんを患い、手術をしたときはもう手遅れだった。病院に会いに行くとベッドで激痛に喘いでいた。わたしは父に安らかに眠ってくれとは言えなかった。本庶氏らが新たに開拓した治療法は免疫療法と呼ばれている。もしもあのとき免疫療法があったら何か変わっていただろうか。

免疫療法は副作用が少なく幅広いがんに持続的な効果があることが実証されている。オプジーボを服用して奇跡的な回復を遂げた元肺がん患者は「先生がいなかったら、僕はいま、ここにいない」と語っている。学会では異端者扱いされていたという本庶氏の一途な研究によって救われたのは命だけではない。生きる希望だ。(高倉)

### 給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第348号

平成30年11月1日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884